

第10回 臨床薬理試験研究会

平成20年6月14日(土) 会場:愛媛県 松山全日空ホテル

1 個体差と臨床試験ー遺伝子検査についてー 9:30～

座長 大橋 京一 (大分大学)

「薬物の吸収、相互作用におけるトランスポーター
遺伝子多型の意義」

家入 一郎 (九州大学)

「臨床試験時の取組み」

東 純一 (大阪大学)

「医薬品開発におけるpharmacogenomics
適用の意義と課題」

安田 早苗
(製薬協 医薬品評価委員会)

座長 植田 真一郎 (琉球大学)

「日常診療における意義と限界」

越前 宏俊 (明治薬科大学)

「一般市民の意識について」

津谷 喜一郎 (東京大学)

「倫理審査について」

小林 真一 (聖マリアンナ医科大学)

2 臨床試験と地域差ー国際比較ー

14:15～

座長 渡邊 裕司 (浜松医科大学)

「国際共同治験の現状と課題」

水野 美邦 (順天堂大学)

「地域性を考慮した治験の実施」

岩崎 幸司 (武田薬品工業)

「国際共同治験における担当医の研修と

医療機関の体制」

野元 正弘 (愛媛大学)

3 マイクロドージング

16:00～

座長 荒木 博陽 (愛媛大学)

「マイクロドーズ臨床試験ガイダンスと早期
探索的臨床試験の展開」

池田 敏彦 (医薬品開発支援機構)

「早期探索的臨床試験の実施における問題点」

熊谷 雄治 (北里大学東病院)

「早期探索的臨床試験における被験者保護」

栗原 千絵子
(放射線医学総合研究所)

第10回 臨床薬理試験研究会 実行委員会事務局

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 愛媛大学医学部附属病院

創薬・育薬センター内

TEL:089-960-5914 FAX:089-960-5910

mail:rinyaku@stu.ehime-u.ac.jp